

平成30年7月3日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国  
韮山営農センター

## 第1回 (7/3号)

# 水稻病虫害発生予察の結果について

今年も水稻の発生予察を行います。毎週火曜に巡回し、各地区の予察圃場を調査していきます。個人の圃場とは誤差もあると思いますが、管理の参考にして下さい。

### ①生育状況

各地区分けつは概ね順調に進んでおり、長岡地区・大仁地区では来週以降中干しを始められそうな圃場も見受けられました。田原野地区・浮橋地区は茎数が確保できていましたので、中干しに入ることができます。概ね昨年と同程度の生育になっています。

### ②害虫状況

ウンカ・ヨコバイの発生状況については、被害が出る程の発生は見られませんでした。韮山地区の寺家の予察圃場にて、ジャンボタニシの発生が確認されました。予察圃場での食害は確認されていませんが、今後の食害や発生状況には十分注意して頂きたいと思います。

### ③その他

いくつかの圃場でヒエやオモダカやコナギ等の雑草の発生が確認されました。雑草が見える圃場では、下記を参考に中期剤の散布を検討して下さい。

### ④資材紹介

#### <除草剤>

- ハイカット粒剤 **1kg/10a** 定植後15日～収穫60日前まで 本剤1回  
※ クリンチャー粒剤の成分が入っているので、ヒエにも効果があるがクリンチャー粒剤との使用回数に注意する。
- アクシズMX **1kg/10a** 移植後7日～収穫45日前まで 本剤1回  
ノビエは4葉期まで、イグサの系統は草丈10cm程度まで効果あり。  
散布後は湛水状態で3～4日はその状態を保つように心掛ける。
- バサグラン粒剤 **3～4kg/10a** 定植後15～55日(収穫60日前まで) 本剤1回  
※足跡に水が残る位まで、水を抜いてから散布。散布後も3日は水を入れず、雨が降らない日を狙う。

※除草剤の種類に関わらず、散布後7日間は落水をしないで下さい。

#### <肥料>

- ケイ酸加里 **20kg/10a** 倒伏防止、食味向上。  
※ おおよそ、穂が出る1ヶ月半前に散布。(韮山は7月中旬頃)

問い合わせ：韮山営農センター 西島・片山 055-949-0055